

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念・事業理念

多様なステークホルダーとの協力関係の下で、豊かな社会の実現に向けて貢献し、企業価値を中長期にわたって安定的に向上させる

売上高営業利益率
10%以上

自己資本比率
60%以上

ROE
10%以上

PBR
1倍超

2 中長期の経営戦略

1. PBR1倍超の達成

稼ぐ力の強化・新成長戦略・新株主還元方針・投資家とのコミュニケーション向上の各種施策を実行し企業価値の最大化に取り組む

2. 事業の多様化

事業ポートフォリオの最適化と資本コスト意識の経営により収益力向上、日本市場及び世界市場での競争力強化を推進

3. 技術革新への対応

2024年4月に先進技術戦略室を設置。M&Aやスタートアップ・大学機関との提携によるイノベーション創出で社会課題を解決

4. サステナビリティ推進

2024年4月にサステナビリティ統括室を設置。気候変動対応・人的資本・人権尊重・健康経営を推進し持続可能な社会実現へ

3 対処すべき課題

① 為替動向への対応

- ・海外子会社貸付を外貨建てとする等、為替管理を強化し影響を緩和

② 原材料費変動への対応

- ・購買・生産体制の効率化によるコストダウン実施
- ・売価への反映等の措置を講じ変動の影響を緩和

③ 人的資本・働き方改革

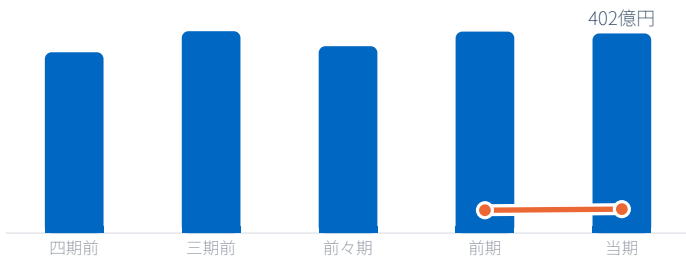
- ・人材育成施策の刷新と社内環境整備を実施
- ・女性が活躍できる環境・機会の整備
- ・多様な価値観を持つ社員の能力発揮を支援

面接で使えるポイント

- ・経営理念に『豊かな社会の実現への貢献』を掲げ、中長期でROE10%以上を目指す企業価値向上の姿勢
- ・2024年4月に先進技術戦略室とサステナビリティ統括室を社長直轄で設置し、技術革新と持続可能性に経営トップが注力
- ・ゴム製品メーカーながらM&A・スタートアップ提携・DX投資を積極推進し、事業ポートフォリオ変革に取り組む成長志向

証券コード 5121

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
40.2億円営業利益率
12.0%財務健康度
75点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
568万円

ゴム製品内 15位/17社

平均年齢
42.1歳

ゴム製品内 9位/17社

平均勤続
15.6年

ゴム製品内 12位/17社

女性管理職
2.0%

ゴム製品内 15位/15社

男性育休
50.0%

ゴム製品内 13位/15社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 藤倉コンポジット(株)【5121】：決算情報

